

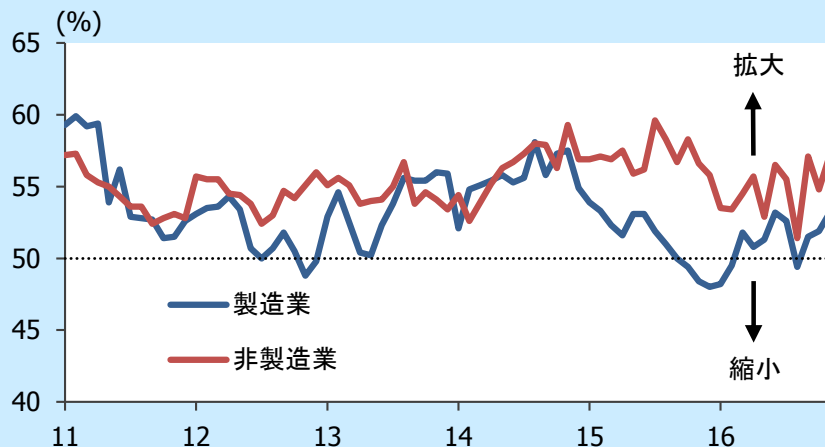
米国：ISM景況指数（2016年11月）

—企業活動は幅広い業種で拡大が継続—

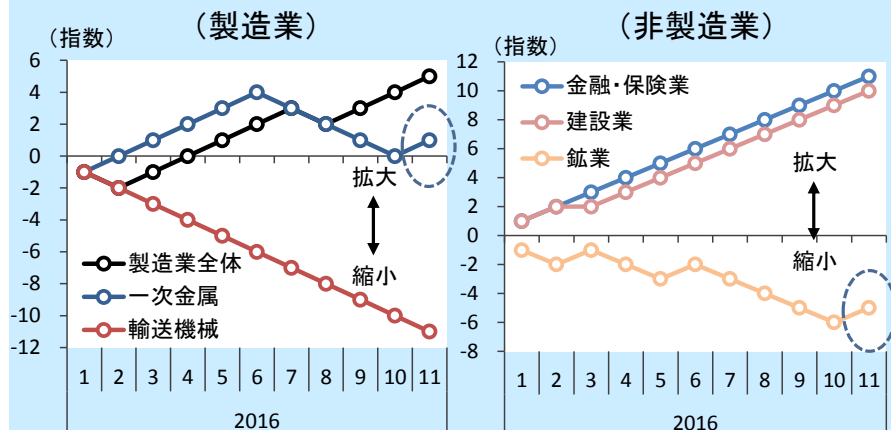
MRI Daily Economic Points

December 6, 2016

図表1 総合指数



図表2 業種別の景況感



注: 拡大=1、縮小=-1、変化なし=0として各業種ごとに16年1月以降の景況感を累積して算出
資料: 米供給管理協会

評価ポイント

今回の結果

- 11月のISM製造業景況指数(総合、12/1日公表)は、53.2と前月(51.9)から上昇。3ヶ月連続で拡大・縮小の分岐点である50を上回った。
- 項目別にみると、新規受注(53.0)、生産(56.0)など幅広い項目が上昇した。
- 活動が拡大した業種は18業種のうち11業種と前月から増加。中国との価格競争に苦む鉄鋼業など一次金属が拡大に転じ、中国に強硬姿勢を示すトランプ氏の大統領選勝利が影響した可能性がある。一方、自動車販売ペース減速に加え、NAFTA脱退の場合に痛手となる輸送機械は縮小継続。
- 11月のISM非製造業景況指数(総合、11/5日公表)は、57.2と前月(54.8)から上昇。高い水準での推移が続いている。
- 項目別にみると、新規受注(57.0)が小幅低下したものの、前月低下したビジネス活動(61.7)、雇用(58.2)が大幅に上昇し、全体を押し上げた。
- 業種別でも、50を上回った業種は14業種と幅広い業種で拡大が続いている。トランプ新政権の規制緩和の恩恵を受ける鉱業は、原油価格の安定もあって拡大に転じた。また、同じく規制緩和が期待される金融・保険業や、大規模インフラ投資の恩恵が大きい建設業では、企業活動の拡大が続いている。

基調判断と今後の流れ

- 製造業は、①ドル高の輸出押し下げ圧力の一巡や、②在庫調整圧力の緩和などを背景に、緩やかながらも景況感が持ち直しつつある。非製造業は、内需の堅調さを背景に底堅く推移している。
- 先行きも、堅調な内需に支えられ、企業活動の拡大基調が続くと予想する。トランプ新政権の経済政策への期待も、企業の景況感を下支えするだろう。
- 下振れ要因は、①トランプ新政権の経済政策への不確実性が高まる場合や、②11月の新大統領選以降のドル高進行が続く場合、製造業を中心に企業マインドが悪化することが挙げられる。